



今回は、SGH・授業改善（ICT の活用）に係る情報をお伝えします。

## ◇ 生徒の表現力・思考力を高める授業と ICT (Guideline 2014 7・8号 から)

- ICTとは…Information and Communication Technology（情報通信技術）の略
- ICT活用教育とは…パソコンなどのハードウェア、デジタル教科書などのソフトウェア、インターネットなどを使った教育
- なぜ、ICT活用教育なのか？
  - ・ **情報活用能力**の育成、**生徒の主体的な学びの促進**、学力向上の有効な**ツール**
  - ・ 生徒の変化⇒生まれたときからの**デジタルネイティブ**（スマホ世代）
  - ・ 生徒の多様化⇒**一人一人に合った学び**の提供
- ICTの活用場面
  - ・ これまでの**授業をより良くするためのツール**として活用する。
  - ・ **生徒の学力向上**に結び付ける。
  - ・ 教師の弱点を補い、**生徒の活動を活発にするための補助**として活用する。
- ICTでどんなことができるのか？授業はどのように変わるのか？
  - ・ **授業の双方向性**の実現
    - ⇒iPadと電子黒板（モニター）をつなげば写真や動画を教室内で共有できる。
    - ⇒Twitter（クラス内のみを設定）を使えば、全員が答えや考えを書き込み、その場の全員が共有できる
  - ・ ICTの活用で短縮できた時間を論理的思考力や表現力を育成する時間に活用できる。

知識の伝達など生徒のインプットに関わる部分を情報機器の活用で必要最小限にすることで、**生徒のディスカッションや発表の機会を増やすことができ、コミュニケーション能力やプレゼン力などSGHが目指すグローバル人材に求められる資質の育成に大きく寄与できる。**

## ◇ 本校職員の実践事例から

教育研修課の「英語授業指導力向上講座」で福田先生（今年の7/30～8/30までカリフォルニア大学アーバイン校での海外派遣研修に参加）がコミュニケーション英語Ⅰで、**ICTを活用したオールイングリッシュの授業**を彩雲館2階の**SGH活動・発信拠点GAB(Global Activity Base)**で実践されました。また、授業後には同じ会場で、講座に参加した教員を対象に**岐阜大学翼徹教授**によって、**電子黒板やインターネットなどICTを巧みに活用したワークショップ**が開催されました。

### ■ 福田先生の授業（1年6組「コミュニケーション英語Ⅰ」）

①教師がプロジェクターで課題提示



②ペアでスライドの内容を相互に説明



③教師がプレゼンのポイントを確認



④グループ毎にパワーポイントでプレゼン



⑤英語での質疑応答



⑥iPadで疑問点をペアで調査



⇒生徒はiPadを何の躊躇もなく素早く扱い、検索サイトで疑問点を調べ始めました！